

1. 授業の概要(ねらい)

この授業は、生命の芽生えから死にいたるまで、人が生涯を通してどのようなメカニズムでどのような発達を遂げるのかを学びます。自身の生き方や周りの人との関わり方を考えるきっかけになる授業内容になっています。内容を深く理解するために、ワークを多く取り入れながら授業を進めます。

2. 授業の到達目標

授業で扱った、人の発達とそのメカニズムについて、説明できるようになることを到達目標とします。

3. 成績評価の方法および基準

小レポート(40%)、期末試験(60%)の結果を元に総合的に評価を行います。

4. 教科書・参考文献

参考文献

坂上裕子・山口智子・林 創・中間玲子 問いからはじまる発達心理学 生涯にわたる育ちの科学 有斐閣
長谷川真里 発達心理学 心の謎を探る旅 北樹出版

5. 準備学修の内容

授業で扱う内容と、自身の生き方や周りの人との関わり方に対する考えを関連づけて、レポートとしてまとめるようにしてください。

6. その他履修上の注意事項

授業中に行うワークに、積極的に参加するようにしてください。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス(目標と内容の説明)
- 【第2回】 生命の芽生え、誕生
- 【第3回】 赤ちゃんの世界のどらえかた
- 【第4回】 コミュニケーションと人間関係の発達
- 【第5回】 言語と遊びの発達
- 【第6回】 他者との関わりの中で自己をとらえる
- 【第7回】 社会性を育む
- 【第8回】 思考を深める
- 【第9回】 前半のまとめ
- 【第10回】 子どもから卒業する(青年期)
- 【第11回】 大人になる(成人前期)
- 【第12回】 他者との関わりの中で成熟する(成人中期)
- 【第13回】 老いる、人生を意味づける(成人後期)
- 【第14回】 後半のまとめ
- 【第15回】 総括と期末試験(到達度の確認)